

都市生活生協支援 第16号

1995.9.6

# 救援ニュース

都市生活現地救援本部  
西宮市津門西口町7-3  
電話：0798-36-6679

## ♡現地救援本部♡ INFORMATION

★救援青空市☆

場所：ポートアイランド仮設住宅  
日時：9月13日(水)午後1時～  
20日(水)午後1時～  
27日(水)午後1時～

詳しくは現地救援本部まで  
TEL 0798-36-6679

### 現地救援本部新スタッフ紹介

### お盆休み以降の 活動報告にかえて

グリーンコープ連合  
荒木芳典

8月25日に現地救援本部に到着し、  
救援活動に参加して自分自身として感  
じたことを報告したいと思います。

#### 《夕涼み会》

到着日の夕方、伊丹市の荻野仮設住  
宅で炊き出し交流会に参加しました。  
そこで感じたのはお年寄りがほとんど  
で、若者、子供が少ないことでした。  
住み慣れた地域から離れて、慣れない  
地域で仮設住宅での暮らしを余儀なく  
され、話し相手もない毎日を過ごし  
ていたお年寄りにとっての交流の場と  
してのこの「夕涼み会」は本当に意義  
のある活動だと思います。

また、この「夕涼み会」は、ゲーム  
や花火もあり、地元の社会福祉協議  
会、民生委員、町内会も参加して、地  
域に根ざした活動ができたと思いま  
す。

これからの救援活動の一つの方向性  
として、この様な炊き出し交流会など  
を、地域のボランティア団体などと連  
携して開催することにより、現地救援  
本部、都市生活組合員の救援活動とし  
てより一層厚味が増し、地域住民の精  
神的なケアができたと思います。

ポートアイランドでの青空市は本当  
に仮設住宅の人々に心待ちにされてい  
るという事を感じ、取り扱うアイテム、数  
量等もなるべく地域にあわせた(=お  
年寄りが多い)企画(規格?)の検討  
が必要と思われます。その反面、物品  
の販売だけにとどまら【2面へ続く】

## 生活クラブの皆さん本当にありがとう

5月8日から始まった生活クラ  
ブ生協による現地救援本部への職  
員派遣が8月31日をもって完了  
しました。「都市生活」独力では  
とうてい成し遂げられなかったで  
あろう多くのことが生活クラブの  
皆さんのおかげで実現しました。  
また貴重な人材が2週間も不在に  
なるのですから、その間に連合や  
各単協にかかった負担は大変なも  
のだったに違いありません。私た

職員派遣 8/31迄完了

ちの活動は言葉を交わしたことも  
ない多くの人々によって支えられ  
ていたのです。

林さん、町田さん、重盛さん、  
阿保さん、倉形さん、宮下さん、  
白駒さん、千葉さん、赤間さん、  
そして4ヶ月も常駐してくれた小  
松さん、生活クラブの全組合員・  
職員の皆さん、本当にありがとう  
ございました。

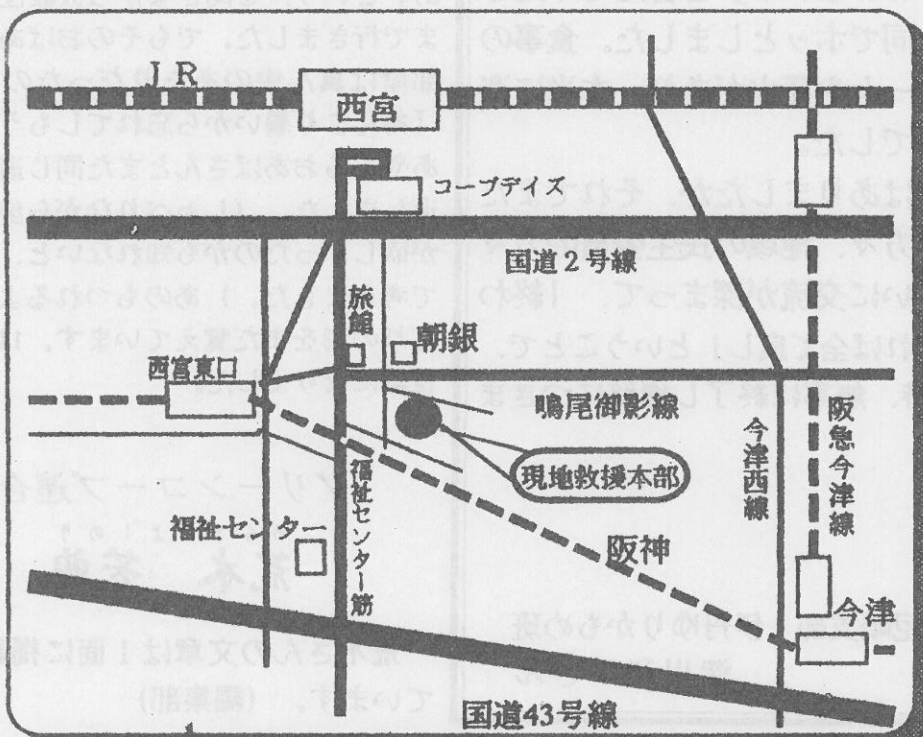
### 組合員活動 現地救援本部

## 新センター、オープン

9/30名参加  
9/5開所式に

都市生活の組合員活動と現地救援本部の活動拠点となる新  
センター(31坪、会議室・生活スペース・倉庫)が全国の友好  
生協のカンパをもとに8月28日にオープンしました。これを  
受けて9月5日に近隣生協の方々を含め約30名の参加をも  
って開所式が盛大に行われました。

所在地は西宮市津門西口町7-3、最寄り駅はJR西宮または  
阪神西宮東口(ともに徒歩数分、下図参照)、電話は従来通り  
の0798(36)6679、ファックス番号は0798(36)5114です。





【1面から続く】ず、もう一步踏み込んだ地域活動（ふれあいセンターなど）にも取り組みの力を入れていく事も大切と思います。

### 《引越ボランティア》

取り壊しが決まったマンションから仮設住宅などへの引越ボランティアをして感じたことを書きます。

9月2日、芦屋市の楠住宅からの引越を行いました。このマンションの被害のひどさはテレビで見ていたときの感じとは比べものにならない程の生々しさでした。壁に大きくヒビが入り、棟全体が傾いている事がわかりました。もう一つの棟はもっとひどく、2階部分がつぶれ、まだその中には遺体があるが、取り壊し作業が始まらない

とどうしようもないという話を聞き、胸が詰まる思いでした。

また引越先の仮設住宅での苦労話も聞く事ができました。駅までの距離が遠くなりご主人を毎日駅まで送り迎えしている、子供さんの学校が変わり登校拒否になった時期もある、山手の仮設なのでイノシシ！に遭遇する、などなど。

### 《まとめ》

「炊き出し交流会」、「青空市」、「引越ボランティア」を通じて被災者の方々の大変さを少しでも理解し、これからの自分自身としては何が出来るかという事を問いかけていきたいと思えます。（13日ほどの救援活動では本当の姿を理解することは難しいし、し

かも自分が何の役に立ったかと問われれば、大したことは出来なかったというのが実感です。）

また地震から7ヶ月以上経過した今、現地救援本部、都市生活生協は被災者に対しての真の救援とは何か、これから何をなすべきか、何が出来るのかという課題に取り組んでいく時期にあると思います。

13日間の短い間でしたが、自分自身としての貴重な体験が出来ました。現地救援本部、都市生活生協および近隣の応援されている生協の方々のご健闘を心よりお祈りします。ありがとうございました。

## 現地救援本部 新スタッフ紹介

生活クラブ埼玉  
あかま ゆきひろ  
赤間 幸彦

8月21から11日間お手伝いさせていただきました。11日間しかと言うべきでしょうか、11日間もと言うべきでしょうか。それは埼玉に帰ってからの自分の生き方が決めることだと思います。

眼に触れる更地が多い風景から、地震当時の惨状を思い描くことは難しい作業です。所詮、自分が身近に受けとめた重さから探り当てて行くしかないのでしょうか。

ポートアイランドの「青空市」で、米を買ったおばあさんの部屋まで袋を運びながら一緒に歩いていたことを思い出します。さえぎる物なく照りつける砂利道を「兄ちゃん、すまんなあ、すまんなあ」という声を聞きながら仮設住宅の端まで行きました。でもそのおばあさんの部屋は真ん中のあたりだったのです。「あんまり暑いから忘れてしもうた」とあやまるおあばさんとまた同じ道を引き返しました。（しゃべりながら歩く時間が欲しかったのかも知れないと、ふと後で考えました。）あのもつれるような足どりの影をまだ覚えています。11日間お世話になりました。

### グリーンコープ連合

あらかし のり  
荒木 芳典

荒木さんの文章は1面に掲載されています。（編集部）

## 夕涼み会！

8/25伊丹市萩野仮設住宅にて

夏休みも終盤となった8月25日、伊丹市萩野にある仮設住宅で夕涼み会が行われました。この仮設は戸数50戸で、8割がお年寄りという所です。夕涼み会は市の社会福祉協議会の主催で、「都市生活」は食事のボランティアとして山菜炊き込み御飯とわらび餅を提供させて頂きました。（「都市生

活」として市にボランティア登録をしているので、お声をかけて頂くことができました。）

午後4時、まだ陽も高く、木陰も全くないところに集合しました。救援本部、組合員、その子供達、それに社会福祉協議会、地域の自治会や民生委員の方々等、多数の参加がありました。

### 伊丹市社会福祉協議会と協力

メニューは簡単なのであまり人手はいらないと思っていました。ところがいざ始めてみると御飯がうまく炊けません。水を加えてスイッチを手動で押して……と悪戦苦闘していたところ、ベテランの民生委員の方が、「蒸らそう！」と助言してくださり、何とか御飯として食べられる状態になり、感謝感謝でした。この間に、子供達もわらび餅をこねたり、冷やしたり……とそれはよく頑張ってくれました。

6時30分頃から食事が始まり、皆

さん「おいしい！」と喜んでくださり、一同でホッとしました。食事の後はゲームや花火があり、本当に楽しそうでした。

失敗はありましたが、それでまた仮設の方々、地域の民生委員の方々とよけいに交流が深まって、「終わりよければ全て良し」ということで、午後8時、無事に終了し帰路につきました。

尼崎支部 伊丹ゆりかもめ班  
深川和子さん